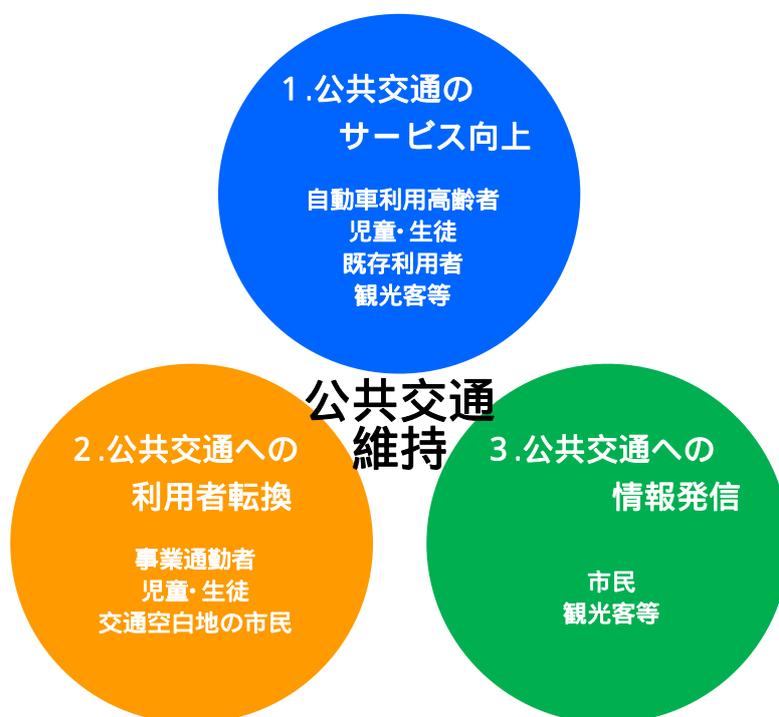


第7章 公共交通に関する課題



課題：公共交通のサービス向上が図られる仕組みの構築

市民の日常生活での各公共交通の利用頻度が少ない現状がある。これは、現状における運行ルートや運賃、本数などの運行体系が生活スタイルに合致してないと感じられているため、必要最小限の利用となっていると考えられる。公共交通利用者へのサービス向上やギャップの縮小により更なる利用頻度の向上が必要である。

課題：公共交通への利用者転換が図られる仕組みの構築

市民の通勤・通学での公共交通の利用は自動車利用が主体となっている現状がある。今後の公共交通利用者の減少は、公共交通網の維持の問題となるため、日常生活での利用を促進するため、サービス向上を図り利用しやすい運行環境の変化で利用者の増加を図る必要がある。

課題：公共交通の情報発信が図られる仕組みの構築

公共交通を利用するはずである市民に対して、公共交通に関する情報が適切に伝達されていないため、既存ルート、乗り継ぎの仕方、根本的な公共交通への乗車の仕方が理解されていないのが現状である。そこで、様々な手段・方法を用いての情報発信や利用の促進を図る必要がある。